

11. 3憲法集会 CU東京の旗を掲げ

9条のある国として戦争は絶対反対の声を



国会正門前で開かれた11.3憲法集会に参加しました。
江戸川支部と本部の旗

日本政府は、パレスチナ・ガザ地区の緊急停戦と日本国憲法を活かした平和外交を積極的に行い、事態の収束のために役割を果たせと11月8日に白滝書記長は、談話を発表しました。

(二面に掲載)

三多摩協議会は、イスラエル大使館宛に、パレスチナガザ地区で行われている大量殺戮へ「パレスチナ自治区ガザ地区へのイスラエルの大規模空爆、地上侵攻、封鎖など国際法を無視した蛮行に抗議し、一刻も早い停戦を求める」抗議文を送りました。

「ガザ地区の子ども・市民をこれ以上殺さないでください。国際人道法を守り、人道を回復するための停戦をただちに決断してください。」と声をあげましょう。

私たちは、住宅や病院への空爆をただちにやめ、市民を犠牲にする地上侵攻を中止し、人道支援を全面的に擁護することを要求します。

《支部大会開かれる》

第14回定期大会

次大会までに
100人をめざす

CU品川支部

10月22日、日曜日11時から、品川労協で第14回定期大会が開催され、出席20人、委任26人で大会が成立し、議事に入りました。

池野執行委員長の「労働相談で解決する事案が多くなっている。CU品川を多くの人に知ってもらい、労働者の権利も知ってもらい、レクもやり、組合員を増やそう」とあいさつがありました。

白石民男日本共産党都議会議員の挨拶、CU東京の高島副委員長から「どうなる日本・どうするCU東京」と題して、講演を兼ねて熱い挨拶を受けました。

その後、佐藤書記長から一括して経過、方針の報告・会計等の提案がされ、質疑で、「一括採用・入社はなくなっているが、大企業などは途中入社をどうやっているのか」等の質問が出され、「経験者を採用している」とソニーのOBが答えていた。執行部提案の「12月に両国歴史散歩のレクを企画している」も含め、次大会



までに100人をめざす議案は満場一致で採択され終了した。

終了後、同じ場所で弁当と飲み物で交流会を行い、近況や加入のきっかけ、労働相談をどうやって解決できたか、組合に入ってよかったなど話が出されました。飲み物や料理がなくなったので、14時半前に終わりました。

大会で選出された新役員

執行委員長	池野 隆
副委員長	高畑 稔 (新)
書記長	佐藤 盛雄
執行委員	丹伊田 恵寿 南 陳栄 船津斌滯
会計監査	武田よね子

《支部の取り組み》

CU葛飾支部 バーベキュー大会で 交流



【談話】 パレスチナ・ガザ地区の緊急停戦と日本政府が憲法を活かした役割と外交に力を尽くすことを求める

2023年11月8日

コミュニティユニオン東京 書記長・白滝 誠

パレスチナのイスラム組織ハマスは10月7日、イスラエルに大規模な攻撃を行った。イスラエルは直ちに報復攻撃を開始し、ガザ地区に多くの犠牲者が集中している。ハマスとイスラエル軍が双方とも戦闘行為を直ちに止め、ハマスとイスラエルは停戦すべきである。

イスラエルはガザへの食料や電気、燃料や水などを遮断して「完全包囲」して空爆を繰り返し、医療施設や住居、難民キャンプなどに、無差別に破壊を続けている。ガザ地区だけでも死者は1万人を超え、その4割以上は子供が占めている。グテレス国連事務総長は「パレスチナ自治区ガザの悪夢は人道的危機を超える人間性の危機」だと非難して、緊急の停戦を訴えている。

中略

日本政府が国連総会での『人道的休戦』を求めた決議に棄権したことは問題である。決議は、一方にだけ自制を求めるものでなく、『すべての当事者』（イスラエル・ハマスの双方）に国際法順守と最大限の自制を求めるものとなっている。日本政府は、アメリカなどに追随せず、自らの意思で外交を展開すべきである。そして日本国憲法を活かした平和外交を積極的に行い、事態の収束のための役割を発揮すべきである。

日本国憲法前文には、「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と、戦争をなくし国際平和を希求する高い理念が掲げられている。日本政府はこの立場を貫き、国際平和に貢献すること、とりわけ現在のガザ地区での緊急停戦と平和のために力を尽くすことを求める。

本文はCU東京ホームページまたは 右のQRコードから



11月5日(日)水元公園BBQ広場にて17名によりBBQ大会を開催しました。

当日は天気もよくCU東京より白滝書記長が参加されました。参加者全員の自己紹介を行い、支部からはリーフレットを配布し拡大月間の報告を行いました。全員飲んで食べて楽しい一日をすごしましたが、尚当日の新規組合員加入はございませんでしたが、加入問い合わせがありました。

CU文京支部 中央大学前で 最賃宣伝



11月15日昼、中央大学(後樂園キャンパス)正門前で、学生向け東京都最低賃金(時給)1,113円宣伝行動を行いました。学生さんの受け取りも、そこそこに良く、珍しそうに宣伝行動を見つけていました。新しい「最低賃金」のぼり旗が目立っていました。

わずか50分間に200枚を超えるチラシ入りティッシュを配りました。手袋が恋しい季節となり、少し寒いからか、両手が塞がっている学生も多く、少し残念でした。次回は、茗荷谷駅頭でやってみたいと思いました。

CU品川支部 東急武蔵小山駅前で 組織拡大宣伝

大会でも提起した、組織拡大宣伝を10月24日に東急武蔵小山駅前で17時半から、5人で行いました。駅前再開発が進み、タワーマ



ンションが2棟建ち、様変わりしています。人通りは多く、40分で持って行ったCUのパンフ275枚(最賃1113円のティッシュに入れた)を配り切りました。多くの人が近づいてきて受けとって行き、なかにはどこの団体ですかと聞く人もいました。宣伝前に、フジテレビの街頭インタビューがあり、組合員が減税や物価影響などを聞かれ、翌朝8時放映され映し出されました。

ユニオンちよだ 不当解雇撤回と 男女差別解決求めて



ユニオンちよだ(ちよだ支部)は11月14日、丸の内にある素材製造の独占企業AGC本社前において、同社と100%子会社のAGCグリーンテックに対し、不当解雇と男女差別待遇の解決を求めて、抗議宣伝と申し入れ行動を行いました。

千代田総行動として区内の労組の連帯のもとでの共同行動です。同社は入社10年目の社員を能力不足などとして、きちんとした育成もしないまま降格、そして不当解雇。当人と組合は提訴し、今年10月から東京地裁での審議が始まっています。男女差別は、女性社員の家賃補

助がないことを訴えたもの。男性には8割の補助が女性はずeroです。地裁で尋問入りしました。

はたらく女性の東京集会 102人が集う

11月5日、けんせつプラザで「第9回はたらく女性の東京集会」が開かれました。オンラインを含め102人の参加でした。

講演は、絵本作家の浜田桂子さんが、「へいわってどんなこと」の製作の過程を詳しく話されました。この絵本は日本と韓国と中国で共同出版された絵本です。平和ということ伝えるということが、今のガザ地区などの情勢と重なり、胸を熱くしました。

文化行事は、シンガーソングライターの三角真弓さん。映画「声をあげる高校生たち」の挿入歌を歌ってくれました。会場からは労働、中小業者、年金生活者等の声が、発言されました。争議をしている皆さんの紹介もあり、励まされ、元気の出る集会となりました。



11・5東京ジャック 70人が参加

東京地評青年協など全都の労働組合青年部でつくる「東京ジャック」実行委員会は11月5日（日）、JR原宿駅東口前で「東京ジャック（青年大宣伝行動）」を行い、青年組合員等70人が参加しました。参加者は「TOKYO JACK」と書かれたお揃いのリストバンドとマスクシールをつけながら、リレートークやシールアンケート、プラカードアピール、SNS企



画の周知等を行いました。

リレートークは、「#労働組合最強説」をテーマに、青年組合員14人がスピーチ。CU東京は、千保法之執行委員が、スピーチしました。街行く同世代の青年に向けて、労働組合の魅力や、労働組合に入って勝ち取った成果をアピールしながら、「労働組合に入ろう」と呼びかけました。

実行委員会で時間をかけて作った宣伝物が活躍。東京地評青年協や労働組合の基本を紹介するフライヤーの受け取りが良く、路上で750枚を配布しました。

自衛隊、ジャニーズに続き宝塚歌劇団、ハラメント・いじめ、集団的あるいは上位組織(職)による人格破壊が次々と明るみに。宝塚ではついに自死にまで追い込まれた。閉鎖的で抑圧的な、人権思想が欠如している体質がある。■CUへの相談もハラメントが多い「役立たず」「早くやめろ」…、孤立と分断の職場で人間性が失われていく。「保険証返せ」と不当解雇されたケア労働者。問答無用、未払い賃金は不問にされた。メンタルやられ一度は泣き寝入りしたが、組合のドアを叩く。■ガザ地区は「天井のない監獄」と言われ、世界一人口密度が高い地域に押し込められ自由を奪われたうえにイスラエル軍の容赦ない空爆、そして病院に突撃する地上戦。即時停戦が求められる。■閉鎖や抑圧が、憎悪を生み、暴力性を高め、存在をも消される。■職場の「監獄」は法治によって解消されるはずだが、組合の関与と運動でしか改まらないのが日本だ。拡大月間は最終盤に入る。